

STORY

「ストーリー」
SEPTEMBER 2006

そろそろ自由な夜を取り戻しませんか?
さあ、飲みに行こうよ!
40代で驚わうスポットガイド付き

5年、10年後のために私は手を抜きません
十和子肌、夏の集中美白レシピ
大特集

あたりまえの誉め言葉だからこそ
新しい価値観が必要
「可愛い」をあきらめないで!

みんなが持っている定番だからこそ、
みんなと同じ着こなしから抜け出したい
毎日のデニスカは、もっと女らしく!
これなら3年経っても浮気しません……しないはず!
言い訳は、「高くても古くならない服」

これなら、まだ暑くても着られますから!
「格安アイテム」で、気分はもう秋
合わないのに合うのが不思議です
富田リカさん「私のオシャレは上下別々」
軽井沢、湯河原、鹿島……観光シーズンが終わった静かな週末に
晩夏に酔う、セカンドハウス生活
私たちのCHALLENGE STORY
夫が家内で、わが家は安泰です!



北欧を旅すると、ヨーロッパのほかの地域にはない湿度を感じます。理屈抜きで体がほっとする湯た空気や、柔らかな光がなんともいえず懐かしくて、日本も北欧も自然をよまなく愛し、木造文化をベースにしています。「いいもの」とじっくり長く「きあう」というスタイルも、両方の文化に通じるもの。北欧のロタックが日本でもなんにも受け入れられるのは、そんな理由もあるのかもしれない。

北欧デザインの魅力を一言で言うなら「シンプル＆ナチュラル」。

有機的なフォルムに機能性を備えたデザイン感覚は、世界中どこにもないと思います。例えば、コブセンのセラグチエ、ホテルのロビーチェアとしてデザインされた椅子は、特徴的な音もたれでつばりが音の拡散を防ぎ、高やすくするという機能を重ね備えています。見た目の心地よさだけでなく、触感の心地よさを重視しているのも特徴です。例えば、繊細な感覚の指先がある部分だからという理由で、背もたれの握りの裏側の仕上げに最も気をつかっているウエナーのダイニングチェアには、北欧の家具の考え方がよく表れているような気がします。

ひとひらとつけていくときりがないのですが、目を奪うようなきらびやかさはないかわりに、「上質な心地よさ」に心をくわけて、デザインロタックは、家の中で過ごす時間の長い北欧だから生まれたのでしょう。

私が北欧デザインを愛する理由。

株式会社イルムスジャパン
チーフインテリアコーディネーター
千葉聖美



イルムス社の内に